

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立中野工業高等学校
定時制課程

1 計画の概要

工業高校の特色を生かし、「ものづくり」を中心とした内容で区内中学校との連携授業を行っている。機械類型及び食品工業類型で本校の施設などを使いながら実習を通して「ものづくり」の楽しさを理解してもらおうとともに、工業高校の施設を使っの授業を体験してもらおう。

期間休業日中：

緑野中学校・・・2年生対象で7月に実施

夏季休業日中に食品工業類型が家庭科と連携して実施

中央中学校・・・2年生対象に8月に実施

夏季休業日中に機械類型、食品工業類型がそれぞれ技術科・家庭科と連携して実施

家庭科教員・・・食品工業類型と連携し家庭科室でできる新しい実習を検討して実施

2 実施内容

中野区立緑野中学校（2年生対象）

- ・中学校家庭科との連携授業として実施した。

菓子パンの製造実習（アンパン、チョコパン、メロンパン、クリームパン）

中野区立中央中学校（2年生対象）

- ・家庭科及び技術科との連携授業

夏季休業中に実施し、家庭科及び技術科の選択授業の一環として行った。

機械類型：工作機械を使っの「ペンケース」の製作

食品工業類型：食品プラントでの酸乳飲料（カルピス）とさばの缶詰の製造実習

中野区家庭科教科研究会（家庭科教員対象）

- ・家庭科の授業でできる加工食品の理論と実践について研究を行った。

今年度のテーマは「保存食品」であり、「レトルトカレー」の製造実習を行った。



3 成果と課題等

【成果】酸乳飲料の製作では「香料」の効果を体験し、中学生には新鮮な驚きがあったようだ。また、パン作りではものづくりの楽しさを実感できたという感想が多数寄せられた。市販されているものに対しても興味・関心が高まったようである。機械実習でもものづくりの楽しさを実感でき、中学生はできた作品を家庭に持ち帰り家庭でも喜んでもらえたようである。

家庭科の教科研究会では今回は「保存食品」ということをテーマとし、日ごろ体験できない製造実習を行い、授業の説明等にも厚みや幅ができるとの感想が教員から寄せられた。

【課題】中学の夏休みが短くなったことで日程調整が難しくなってきた。教員の異動等で引継ぎがうまくいっていなかった点も改善する必要がある。

